

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援夢未来		
○保護者評価実施期間	令和7年11月12日		～ 令和7年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	令和7年11月12日		～ 令和7年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・専門性に秀でているスタッフが在職しているの で、児童・生徒へのアプローチの仕方が多様であ る。また、保護者の悩みにも対応できている。	・児童・生徒の特性、家庭環境についてはスタッフ 間で綿密な情報交換を行ない、特性に応じた支援内 容や方法を検討している。	・支援内容、方法について、保護者の意見を求め、日々の支 援にフィードバックしていきたい。 ・外部で開催される研修に積極的に参加し、日々の支援に フィードバックしていきたい。 ・保護者の願いに耳を傾け、保護者に寄り添った支援を行 いたい。
2	・広い多目的室や農園を備えているので身体活動や 本物の自然にいつでも触れることができる。	・療育活動の一環として、調理体験や農業体験を組 み込み、野菜苗の植生、育成、収穫等の作業を集団 で協力しながら取り組んでいる。	・療育活動内容のひとつとして、不定期だが月1 回、専門の指導者によるダンス教室を開催する。 ・年間スケジュールの中に調理活動や野菜作り活 動を組み込み、多くの利用者が参加できる態勢を 作っていきたい。

3	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ間で意思疎通を図ることができ、チームワークがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ間のコミュニケーションを大切にし、お互いに助け合いながら勤務できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の状況を続けていきたい。
---	--	---	---

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を立ち上げて、まだ年数が経過していないので、仕事の役割分担が流動的で確立できていない部分がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な知識・技能を持っているスタッフに負担がかかっている現状がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中心的なスタッフが持っている知識・技能を徐々に伝達し、担っていく役割を移行、確立していきたい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフが力量を伸ばしていくために技能研修会に参加したいが、時間の確保が難しい現状がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、利用者である個々の児童・生徒に関わることで精一杯であり、体系的な支援内容を学ぶ研修会に参加できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場内研修として、日々気がついた事柄を新しいスタッフに伝達するとともに、時間が許す限り、外部研修に参加するよう働きかける。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士、言語聴覚士、作業療法士等の資格を有する人材がいないので、療育活動全般にわたって対応することができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業所は創業期なので、まだ、多様な事象に対応できる福祉分野に堪能な人材を確保・育成できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語や作業に関する外部研修に積極的に参加し、学んだことを他のスタッフに伝達する。 ・将来的には、有資格者を採用し療育活動に従事できるようにしていきたい。